



文化協会だより



第24号
 〔発行日〕令和2年10月1日
 〔発行・編集〕河南町文化協会

YouTube：河南町文化協会

〔事務局〕
 〒585-0014
 河南町大字白木1387
 河南町立中央公民館内

普通のことを普通にできる事

河南町文化協会 会長

松田 豊彦

日頃、文化協会に係わって頂いてい
るすべての方々に心から感謝申し上げ
ます。今年も新型コロナウイルスの
影響により、やむなく、文化祭典を中
止せざるを得ない状況になってしま
いました。去年は、舞台発表及び作品展
示に多くの団体に参加していただき有
難うございました。特に小さいお子さ
んの展示やダンスにも沢山の見学者が
来られました。老人クラブの方々も芋
煮を提供していただき、多くの人々が
喜んでおられたことを忘れる事が出来
ません。今年がこんな事になるとはそ
の時、想像もできませんでした。

毎日々々なクラブで研鑽されている
ことが発表できないことは、非常に残
念でなりません。

でも、いつも普通にしている事が、
普通に出来るとはかぎりません。特に、
最近では突然何が起るわからない事態
が発生しています。今回もそうかもしれ
ません。

何人かが集まって他愛無い話をした
いとか、興味のあることを皆で一緒に
やりたいとかをやめる事はできません
よね。それが一番幸福なことかもしれ
ません。

困難な問題が発生した時に、文化協
会として何が出来るのか、それを解決
するにはどうしたらいいのか。それ
はすぐ解決できないかもしれませんが、
でも世の中は、絶えず変化しています。

例えば、飲み会が今までできていたの
に新型コロナウイルスの影響で出来な
くなってしまいました。しかし、オン
ライン飲み会なるものが出来るようになっ
ています。学校では、オンライン授業
ができるようになっていきました。

文化協会としても、オンラインクラ
ブ活動やオンラインお茶飲み会や無観
客の発表会が出来るような環境整備も
検討しなければならぬ時代になっ
たのかもしれない。

人間の欲望は、計り知れませんが、
でも、普通のことや普通で出来ること
が、一番幸せなのかもしれません。

文化協会として、そんなにできるこ
とがあるとは思えませんが、少しでも
皆さんの活躍できることを支援したい
と考えています。

「文化協会だより第24号」

の発刊を祝して

河南町長 森田 昌吾

このたびの、「文化協会だより第2
4号」の発刊を心よりお慶び申し上げ
ます。

貴協会の日頃からの活発な文化・芸
術活動に敬意を表するとともに、町の
文化振興・発展にご尽力いただいてお
りますことに、厚くお礼申し上げます。

今年に入りまして、新型コロナウイルス
の感染症が中国湖北省武漢市を中
心に感染拡大し、全世界に広まりまし
た。大阪府においても多くの感染者が
確認され、貴協会の秋の文化祭典が中
止となったことは誠に残念であります

ん。また、様々な行事、クラブ活動の
中止や自粛を余儀なくされるなど、貴
協会の活動も大きな影響を受けている
と思います。しかしながら、新しい生
活様式に順応しつつ、心を一つにして
このコロナ禍を乗り越えていかなけれ
ばなりません。会員の皆様の日々の研
鑽・努力は、ご自身のみならず、その
文化・芸術に触れる方々の心も豊かに
し、楽しみであり生きがいになってお
り、さらなるご活躍を期待申し上げま
す。

また、今年6月には本町で初めての
日本遺産の認定を受けました。本町を
含んだ和歌山県、大阪府、奈良県をま
たぐ葛城の行場が「葛城修験」一里
人とともに守り伝える修験道は「ま
るの地」として日本遺産に認定され、本

コロナ禍の文化芸術活動

河南町教育委員会教育長 新田 晃之

このたび、「文化協会だより」第24
号が発刊されますこと、心よりお喜び申
上げます。

文化協会会員の皆様方には、会員相互
の連携を深め、広く文化の創造と振興に
努め、本町の文化活動の充実にご尽力頂
いておりますことに、心から感謝申し上
げます。

さて、新型コロナウイルスの影響で秋
のビックイイベントである文化祭典も会員
の皆様の苦渋の決断をもって中止となり
ました。会員の皆様方が楽しみにされて
いる日頃の活動の成果を披露される祭典
だけに、誠に残念でなりません。

今しばらく、コロナとお付き合いが、
続きそうです。

夏目漱石の作品『草枕』の冒頭に、次
の一節があります。

『山路(やまみち)を登りながら、こう
考えた。智(ち)に働けば角(かど)が
立つ。情(じょう)に棹(さか)せば
流される。意地を通(とお)せば窮屈
(きゆうくつ)だ。とかくに人の世は位
みにくい。位みにくさが高(こう)じ
ると、安い所へ引(ひ)越したくなる。どこへ
越しても位みにくいと悟(さと)った時、
詩が生まれて、画(え)ができる。・・・
越す事のならぬ世が位みにくければ、位
みにくい所をどれほどか、寛容(くわん
じやう)の命を、
束の間でも位みよくせねばならぬ。ここ
に詩人という天職(てんしやく)ができて、

ここに画家という使命が降(くだ)る。

あらゆる芸術の士は人の世を長閑(のどか)にし、人の心を豊かにするが故(ゆえ)に尊(たつ)とい。...

漱石は、人の世界というのは生きにくい、芸術の世界は心を豊かにすることが出来る。だからこそ尊いといっています。

ウィズコロナ時代を心豊かに過ごすためにも、文化芸術活動そのものを停滞させるわけにはいきません。3密を避けるため、皆が集まっての活動は制限されますが、今だからこそ、普段でしなかつた形の文化芸術活動にもじっくり取り組むこともできます。また、ちょっと苦手とあきらめていたパソコン等ICTを活用した創作にも挑戦できます。ピンチをチャンスに益々活動の幅を広げアフターコロナ時代を迎えていただくことを期待致します。

結びになりますが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご健勝をお祈り申し上げますとともに、更なる町の文化・芸術の振興にご協力を賜りますようお願いいたします。



用具を使って楽しく体操しましょう

3B体操

中野幸子

3B体操は、用具を使って音楽に合わせて動く体操です。音を聞く、用具を使う、いろいろな動きをするを同時に行うため、自然に楽しく身体をのびるような筋肉を働かしています。しんどいと感じなくて適度な運動ができます。

- 有酸素性運動
- バランス機能改善と筋力づくり
- 柔軟性を高めるストレッチング
- 心身のリラククスと認知機能改善のためのあそびの運動

この様な効果が望めます。体験されると、肩こりが改善されたとか体力がついた、風邪をひかなくなったなどの声が聞かれます。仲間とわいわいおしゃべりをする事でストレスの解消にもなります。ぜひ一度いつでもおこしください。

活動日

毎週水曜日 成人

午前9時30分〜11時

毎週水曜日

シニア(椅子に座って)

午後1時〜3時

場所 中央公民館 三階

毎週金曜日 成人

午前10時〜11時30分

場所 大宝地区公民館

連絡先 中野 93・4758

090・9099・5191



コロナ禍の将棋大会

河南町将棋クラブ 豊田

毎月第一および第三日曜日、河南町将棋クラブで定例会を行っています。ところが、コロナ騒ぎでやむなく3月から6月まで休止。7月からなんとか再開しました。

マスクは必ず着用、3密を避け、将棋盤を挟んでの対局はやむを得ないものの、間隔を広く開け、2列並列で対戦をしています。

さすがに小学生諸君は参加も少し減り、参加時間も短縮しての対局となりましたが、ほかのメンバー共々結構参加者もあり、久しぶりの対戦で、笑顔いっぱいそれなりに頑張っています。

コロナの第二波が来るようであれば、また休止を考慮することもあります。

すが、当分この状態で運用したいと思っています。

7月に開催していた、河南町主催夏休み子供将棋教室「南山先生の将棋教室」は、今年はお休みしましたが、その他の定例行事1月「新春将棋大会」は、今のところ開催する方向で検討していますが、場合によってはお休みすることもあります。

コロナに負けず頑張りましょう。皆様のご活躍をお祈りします。

活動日 毎月第一および第三日曜日 午後

場所 大宝地区公民館

連絡先 河南町将棋クラブ

書記 松本雄史 0721・93・2765

文化祭典の展示



コロナ禍のおけいこ

宗規会 須原幸子

例年どおり初釜（年の始め）のおけいこから、今年のクラブの活動が始まりましたが、例のごとく世間は、新型コロナウィルスの蔓延により、公民館は閉鎖され、各クラブの活動停止となりました。

何気ない日常の生活、普通に好きな事ができる事がいかに大事であったかと、気付かされる毎日でした。

家でひとり抹茶を点でて頂く味気なき、仲間と釜のお湯で頂く抹茶のおいしさを、改めて再認識する機会となりました。

再活動は、先生のお教えのもと新しい生活様式でのおけいことなっております。

今年は文化祭でお会いする事はできませんが、公民館に來られましたら、三階の和室をのぞいてみて下さい。喜んで一服さしあげます。

お気軽にお立ちより下さい。お待ちしております。

活動日

第一・二・三 木曜日

午前十時〜午後四時

場所 中央公民館 三階和室

連絡先 須原

090・3652・0036



コロナ危機をのりこえて楽しく前向きに、白・黒の石を打とう！

かなん囲碁愛好会 中村正敏

新型コロナの禍は、私達の楽しみの行く手を阻もうとしています。でも負けません！今まで私達が歩んで来た道には、今にもまさる困難を乗り越えて来た“力”があります。それは“仲間の連帯した力”であります。今こそ、この力を出し合い助けあってこの危機を乗り越えて次の新しい道をみんなで切り開こうではありませんか・・・。

私達「囲碁愛好会」の仲間達は、まさにその試練を乗り越え、これからの自分達の楽しみを白・黒の石を並べながら友情と連帯の闘いに磨きをかけようとしています。新しい社会的ルールにそって密をさけ、風通しを良くし、マスク、手洗い消毒など皆なで気を配りながら白・黒の石音を元氣よく響かしています。

囲碁愛好会の今の合い言葉は「コロナ危機をのりこえて、楽しく前向きに白黒の石を打とう！」です。若きも老いも共に連帯してきがるに足を運んで下さい。

活動日

毎週木金土の午後一時〜五時

場所 大宝地区公民館二階です

連絡先

代表 中村 93・7386

白黒の石が音をたててお待ちしております。

文化祭典の展示



なつかしい「ふるさと」会

コーラスクラブ

板倉幸子

河南の地に永年根強く腰を下ろした「ふるさと会」コーラスクラブ、私の参加はこの四年余りですが、皆さん分け隔てなく、受け入れて下さり、馴染む事が出来ました。現在会員数女性三十数名、男性七名です。景山先生御夫妻の親切で温かいご指導のもと、ほっとする合唱団です。まず、ストレッチ体操で体をほぐし、発声練習で始まります。

男性も交じえ三部のハーモニーに、心も体もいやされる一時です。

昔懐かしい小学唱歌、世界の名曲、民謡等、春夏秋冬の季節感も取り入れて、つい口ずさんでしまう曲ばかりで、たちまち時は、過ぎてアツと言う間の一時です。

昨今のコロナ禍で家居の多い毎日ですが、一人でも口ずさめる歌がある事は、本当に癒されます。

皆さま参加されませんか？
ぜひ見学にお越し下さい。
男性大歓迎です。

練習日 第一、第二、第四水曜

午後一時半～三時

場所 大宝地区公民館

連絡先 谷口 93・6177

吟行を楽しむ

かなん句会 齊藤弘子

雨粒の垂るる茅の輪をくぐりけり

庸子

梅雨滂沱神鶏（つゆぼうだしんけい）
寄りて雨宿り 弘子

夏被（なつはらい）目を引く禰宜（ねぎ）の白袴（しろばかま） 千代子

朝風に揺るる瓢箪五つ六つ 攝子

コロナ禍も夏越（なご）しの袂肅肅（はらいしゆくしゆく）と 君代

梅雨激し神鶏小屋に身じろがず 順子

名にし負ふ古刹（こさつ）の森に 大茅（おおち）の輪 喜美子

雨戸緑（く）るとたんぼとりと 友恵

守宮（やもり）落つ 大茅の輪 真智子

コロナ禍で外出を余儀なくされましたが、四月は町内の高貴寺、五月は五條の大澤寺、六月三十日は生憎の雨の中、茅の輪神事を求め、石上神社、大和神社、長岳寺を吟行しました。石上神社では、例年の神事は取り止め、各自家族の安全健康を祈りつ、茅の輪を潜らせて頂きました。

数多の神鶏の雨宿りをほほえましく眺めました。

大和神社は「戦艦大和」の守護神として祀られ、その英霊を合祀されています。

氏子さんが朝早くから茅を刈り、準備された茅の輪を、夕方の神事の前に潜らせて頂きました。

最後に近くの長岳寺を訪ね、本堂の秘仏三尊の前で、住職さんの熱心な話に耳を傾けました。

「かなん句会」は、毎月十二句の出句で例会を開いています。興味のある方は、是非遊びに来て下さい。

句友一同お待ちしております。

伝統文化の継承と発足

河南町地車連合会

中野翔梧

私たち河南町地車連合会は、平成二十一年に河南町内で実働している十七地区の青年団により発足しました。

主な活動内容は、秋祭りの運営に関する協議や河南町でのイベントへの協力、ボランティア活動などを行っています。

また、インスタグラムやツイッターなどのアカウントを作り、河南町内のみならず、他の地域の人たちにも知っていただけるように河南町のだ

んじりに関する情報や写真を掲載し、発信しています。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、だんじり秋祭りや様々なイベントが開催できないという状況です。河南町の伝統文化「だんじり」の継承のためには私たち河南町地車連合会やその関係者、河南町民の皆様があつてこそだと思っています。新型コロナウイルスが収束した後は、地域の活動にも積極的に参加し、「だんじり」の今後の発展と普及につなげていけるように努めてまいります。

活動日 十月 第三土・日曜日
連絡先 中野 080・1518・3252



大宝地区俳句会の思い出

内田 満

私が当地に引越したのが、昭和四十八年です。昭和五十年頃、近くにあった書店のドアに俳句をする人がおられたらご連絡ください。との張り紙がありましたので、何かの仲間入りしたいと思っていた矢先でしたので、声をかけさせていただき、先輩二人の方とスタートしました。当地の特徴や環境を生かす意味もあり会の名前を「古墳群句会」としました。あれから通算四十五年になります。

その後、地区老人会を主に「つぼみ句会」吟行を主に「竹宝句会」が生まれ現在に至っております。

先輩の多くは黄泉に発たれた方も多いのですが、地区の文化活動として現在も引き継がれております。

これからも世代を超えて続くことを願っております。

竹宝句会

活動日 第2火曜日 午前9時～

12時

場所 大宝地区公民館

つぼみ句会

活動日 第1土曜日 午後0時～

4時30分

場所 大宝地区公民館

古墳群句会

活動日 第2日曜日 午後0時～

4時

場所 大宝地区公民館

連絡先 内田

080・6120・6603

自らの介護予防を楽しく！
さくら坂シニアエクササイズ教室

チエリー会 本多清司

この教室は専門の指導者による介護を必要とせず健康でいきいきとした日常生活が送れることを目指しています。

(内容)

- *口腔体操・嚥下の練習・発声練習
- *簡単な筋トレ・脳トレ・リズム体操
- *立位ストレッチ体操・ステップ運動・マットストレッチ他

(会員のみなさんの体験談です)

☆チエリー会に入り五年目 口腔体操がとても気に入って楽しんでやっています。

☆良い姿勢を保つ大切さを教わり心がけているので、少しは良くなったかなと思います。

☆腰痛を気にしないで、過ごせる日が増えました。

☆この体操会に入ってから体調も少しずつですが、良いみたいです。これからも、続けられたら良いかなと思います。

☆一人だと運動が続かないがこの会に入って続けられるのが、良かった等々

・口腔機能を高めたい方・姿勢が気になる方・運動不足が気になる方・一緒にしませんか！見学自由です。お待ちしております。

今年度はコロナ禍の影響により6月より再開 感染予防のためにマスクを着用し 三密を避け 換気を充分に 時間を短縮してやっております。

活動日 毎週木曜日 午後1時30分より3時

さくら坂地区集会所

連絡先 瀬尾

090・9056・0518

あすか吟詠友の会では

何を習ってるの？

あすか吟詠友の会 坂本定則

吟詠とはふしをつけて詩や歌をうたうこと。代表的なものに詩吟があります。詩吟に関しては、毎年発行されている「文化協会だより」で紹介していますので略します。今回は当会で習っているものを紹介します。

当会には漢詩のみならず種々の詩歌に音階をつけた教本があります。

(1) 俳句 一例として松尾芭蕉作「閑かさや 岩にしみいる 蟬の声」

たった五七五の十七音で表現されています。この句を朗読するだけではなかなか詩情が伝わりません。そこで当会ではこの詩に音階をつけて吟じ、詩情を味わいます。

(2) 和歌

平安初期の歌人紀友則作「ひさかたの 光のどけき 春の日に しず心なく 花のちるらむ」五七五七七の三十一音に読みこまれた歌に音階をつけ詩情を味わいます。その他有名な和歌が多数あり習っています。

(3) 新体詩

島崎藤村作「千曲川旅情の歌」その他の詩にも音階をつけて吟じ、詩吟とはまた別格な味わいがあります。

これらの吟詠の指導には、関西吟詩文化協会の副会長・指導部長を長く務められた大宝四丁目在住の鈴木永山先生がされています。教え上手で、また楽しい指導ですよ！

是非一度練習会場へお越しください。

お待ちしております！

会場 大宝地区公民館

日時 第一水曜日 午後五時～九時

第二・三水曜日 午後六時～九時

会場 中央公民館

日時 第二、第四水曜日

午後一時半～三時半

連絡先 教場長 吉田忠男

93・3195



仲良し チアダンスTEAM
かなんチアクラブ Shine

坂口 真弥

みんなが楽しく、笑顔が溢れる教室づくりをモットーに活動しています。教室内での、季節ごとのイベントやパーティーをする時には、子供たちが中心に準備をし、いつも楽しい思い出になっています。レッスンでは、上級生が下級生を優しく教える光景が多く見られ、お姉さんたちに憧れる下級生がとても多いです。中学生は指導補助に入り、教室運営を学びながら、自分たちの更なるステップアップに努め、クラブとも両立出来るようにサポートしています。

異年齢ですが、とにかくみんな仲良しのチームです☆

活動日

毎週土曜日

キッズ(幼児年中から)

9時30分から10時20分

ジュニア(小学生)

10時から11時30分

JS(中学生)

10時から12時

場所 さくら坂地区集会所

(但し、変更あり)

☆見学・体験、随時受付

代表・連絡先 坂口 真弥

080・1504・7917



舞踊クラブ 優美会

優美会 高戸邦子

舞踊といえれば楽しいし、足腰の運動にもなります。又頭の活性化というか順番覚えるのが大へんです。優しく丁寧に教えて下さる師匠のお陰で何回も練習を重ねていくといつのまにか覚えてしまいます。

老人ホームとか老人の集まりで慰問に寄せてもらう事もあります。その時喜んで拍手して頂くと踊り方もとても嬉しいし、いい勉強にもなります。

今年はコロナで盆おどりも又文化祭の舞台も無いですが、次の目標に向かって練習して頑張っています。私もだんだん歳を感じる様になりましたが、長年習ってきて今では良かったと思っています。やはり心も若く身体も元気であります。

入会お待ちしております。

活動日 月三回 火曜日

午後一時半〜四時半

場所 農村環境改善センター

連絡先 高戸 93・2757



心を合わせて美しい音色を
オカリナ&ベル ピアチエーレ

小笠原 美智子

オカリナとの出会いは、定年退職後、10年たった頃です。たまたまピアチエーレの演奏を聴く機会がありました。やさしくて何か懐かしさが込みあげてくる音色でした。即、入部しましたが、初心者なのに、先生や部員の皆様の指導のおかげで、何とか曲が吹けた時の嬉しさは今も忘れません。

今年が入部して三年目になりますが、オカリナやベルの演奏は、まわりの人の音をよく聴いて、心をこめて合わせるこの大切さも学びました。テンポやリズムのとり方など、合わせるのが大変なこともあります。ピタッと合った時は格別です。仲間と心がひとつになり、一緒に演奏できたという嬉しさ、喜びが楽しさになりました。何をしても続かなかった私ですが、オカリナは、ずっと続けていける自信がつかまりました。

今は、新型コロナウイルスの影響で、文化祭や地域の皆様との交流はできず残念ですが、一日も早くこの状況がよくなるようお願い、部員一同、練習に励んでいます。

活動日 毎週月曜日

第一・三・五週目 午前九時半

第二・四週目 午後一時

場所 旧河南ふれあいセンター
連絡先 浅尾 93・4811

えっこれ粘土？創ったお花に心癒されて
クレイフラワークラブ 天野節子

生花の美しさはたとえようもありません。が、そこに、姿、形、色彩など自由に表現し、人の感性を加え、粘土で創る花の美しさのアートを愉しんでみませんか？

凛として、又、自然の厳しさに耐えながら、可憐に咲く一輪の草花に魅了され、つい作ってみたくありません。

クラブの皆さんは、「私は不器用でグメ」なんて言われる人も、仕上がったお花を観て、「あっかわいい！」なんて言っては、楽しまれています。皆さん同じお花を作られても、それぞれ個性が表現されて楽しいです。みんなで共感しあい、癒されるひとときです。

頭と、手先を使い、ボケ防止に、まだまだ、70才、80才の手習いの老活を愉しみましょう。

是非皆様、気軽に教室に寄ってみて下さい。
お待ちしております。

場所 中央公民館
活動日 第二、四水曜日
午前九時〜一二時
連絡先 天野 93・8313



“音色とハーモニを楽しんで”
大正琴 やまゆり会

山内礼子

大正琴はテーブルの上に置ける大きさで、左手でボタンを押さえて右手で弦をはじいて弾きます。楽譜は数字譜なので簡単に弾けます。

現在は会員が四名で、先生の指導のもと、邦楽からクラシックまで色々な曲を演奏しています。

毎回、先生からいただく新曲を楽しみに練習に励んでいます。
楽器はソプラノ、タイプII、アルト、バスと四種類ありアンサンブル演奏をし、各パートがピッタリ合って素敵なハーモニーになった時は感動です！
曲に合った音色が出るように心掛けています。

今年二月に東京NHKホールで全国大会があり、楽しく演奏してきました。以後はコロナ流行の為に演奏会が全部中止になり淋しい限りです。

現在は来年一月に京都で開催される邦楽の全国大会に向けて練習に取り組んでいます。

会員募集中です！

公民館で大正琴の音色が聞こえたら遠慮なく声をかけて下さい。是非大正琴に触れて音を出してみたいです。

お待ちしております。

活動日 第二、第四金曜日

午前9時〜12時

場所 中央公民館

連絡先 山内礼子

93・2835



自然のままに活けるお花に癒されて

山月の会

岡村節子

今年度の山月の会は、コロナ禍により一時休会になりました。しかし、七月から公民館が再開されましたので、会の活動を復活し、会員のみなさんと一緒にお花を活けて楽しんでいます。

山月の会のお花は、流儀に捉われず一本づつゆっくりとお花を観て、一番きれいな所を見付けてスツと切ってスツと活けて行きます。

そしてお茶は、いつでも何処でも誰とでも気軽に楽しめる略盆点前です。

お盆の上で点前に必要な道具を清め、お茶を点てて楽しむ事ができます。

その他、地域の方々にも四季のお花で癒され楽しんで頂きたいと言う想いで公民館や役場、中学校、やまなみホールと活け込みをさせて頂いています。

是非、気軽に見学に来て下さい。

活動日 第1・2・4火曜日

午前9時〜12時

場所 大宝地区公民館

連絡先 辻元 93・3831



すばらしい仲間とともに

河南町陶芸クラブ
乗田尚美

「どんな焼物がお好き？」と尋ねられ「石焼芋」と答えたのは昨年のこと。陶芸という焼物に初めて接し、クラブの皆さんの力作を拝見すると、まるで雅な京焼とか、信楽焼の素朴なたぬきさんとか、そして大和絵を描いた赤膚焼とかと想像し、万葉の頃まで思いを馳せたものです。

入会し、講師からの課題は、春にはお雛様、初夏には兜、夏には風鈴等。中々課題をこなせず、最初に作陶したのは箸置と小さな花器。形は少し変で色付も想像とは違ったものになったものの、「きれいで付けてる。ええ形やないか」と先輩から励まされ「よっしゃ！次は頑張るで」と、次の作品への思いが膨らんだものです。

最近講師から釉薬の調合を学び、各人がオリジナルの釉薬を作り本焼に挑みました。始めて1年になりますので、そろそろ満足のいく作品づくりが臨もうと思っています。

これからは「好きな焼物は何？」と尋ねられたら、「どの焼物もいいけど、やっぱり河南焼」と今度は自信を持って答えたく思っています。

陶芸クラブは体験受付中です。



お問合せはこちらまで
活動日

第2・第4土曜日
中央公民館分室
午前9時～12時30分
午後1時～4時30分
近つ飛鳥小学校
午前9時～12時30分
連絡先 福田 93・3776

楽しく歌って

かなんグリーンエコー
福本梅代

私たちは毎週金曜日、午前10時から12時まで、テノール歌手、茶木先生の指導で練習しています。

けれど、大勢で、しっかり声を出すコーラスは、新型コロナの感染のおそれがあるため、三月から八月まで長く休団をしていました。

やっと九月からマスクの工夫、3密の対策を行い、活動を再開となりました。

今の練習曲は、宮沢賢治の劇中歌や、子供の遊び、大人の恋、季節の香りなど、いろいろバラエティーに豊んだ詩を歌って、楽しんでいきます。

歌うことが好きな方は、ぜひ一緒に歌いましょう。

活動日 毎週 金曜日
午前10時～12時
場所 大宝地区公民館
連絡先 平見 93・5694



言葉に親しもう

楽詩舎 加納由将

楽詩舎は文字通り詩を楽しむ場所です。一人の詩人、一編の詩に出会うことはもちろん日常的に言葉の組み合わせを変えていくことで平凡だった日常がきらめきを帯び始め、それまでの日常では感じることができなかった違った世界が待っています。楽詩舎で一旦日常の慣れ切った世界を離れ、静かに一編の詩作品を読むことで日ごろ使っている言葉を見直し、体の中にある切り替えボタンを探してみませんか。

飽き飽きしていた日常が少しずつ変わってくるかもしれません。詩は難しいというイメージを持たれがちですが、それはほんの一部です。詩の多くは分かりやすく運ばなければ自分に寄り添ってくれる詩作品に出会うことができこれから生きていく心の支えになってくれると思います。

詩は実はありとあらゆる生活場面に隠れています。それは呼吸と同じぐらい自然に入っているのが付かないのです。

詩は例えばテレビのコマーシャルや電車の中吊りにさえ入っています。正面から見なくてもなかなか見つけるのは難しいです。それは広告という先入観で見ているからです。例えば中吊りにも詩が隠れています。その先入観を少し破ってみませんか。日常がほんの少し変わるかもしれません。

連絡先 加納 93・4163
活動日 月1回 具体的な日時場所はチラシにてお知らせ



新型コロナに負けないぞ！

富田林市寺内町巡り

かなんぶらり歩く会

本田 満

かなんぶらり歩く会は、二十二年以上の歴史をもち、七十五名（本年度）の会員の集まりです。

行事は年十一回（八月は除く）で、近畿地区の歴史探訪や自然観賞を求めて、ハイキングを行うものです。

本年度は総会を含め、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、四・五月中止せざるを得ませんでした。

六月に入り、大阪府の緊急事態宣言が緩和され、当会も行事再開し、六月は大阪平野区歴史探訪・七月は富田林市寺内町巡りを行いました。

七月五日（日）富田林市寺内町巡りは、近鉄富田林駅に午前九時三十分集合。三十四名の参加者で約二時間のゆっくりとした徒歩巡りでした。

全員マスク着用と手の消毒を守っての活動は、三十度近い気温のため少し辛く感じました。

会員のほとんどは、寺内町訪問を経験しておりますが、整備された町並みや新しいお店が多く、十分楽しめました。改めて歩く楽しさが実感出来たとの声も多く、当会の歩く楽しみが実感されたと感じられました。

当会のお問合せは、本田まで
電話 090・2380・1690

文化祭典の展示



オカリナクラブウインディの紹介

オカリナは、土でできています。暖かい、懐かしい土の響きを持っています。小さくて、手入れも簡単。誰が吹いてもすぐ音がでます。オカリナは管楽器であると考えている方が多いと思います。しかし、よく見ると決して管楽器ではありません。壺のような形をしています。

リコーダーなどの管楽器は、指穴の開閉で管の長さを変えて音階をつくっていますが、オカリナの音程は、体積と開いている指穴の総面積で決まるのです。オカリナはどこに穴を空けても良いのです。ただ吹きやすいように順番に並べているのです。難しい話はこれくらいです。

易しい曲ならば、初めてでも人によっては、すぐに吹けるかもしれません。リコーダーが吹ける方は、即、曲が演奏できます。

口笛を吹く様な又は歌う様な気持ちで息の加減をしましょう。良い音を出す息は、正しい姿勢と良い音を出すような気持ちが大切です。

数多くの曲を楽しく吹くことがオカリナの上達の秘訣です。そうすれば、いつの間にか上手に吹けるようになっていくはずですよ。

さあ、オカリナを手にとりて音を出してみましよう。

活動日 第1・第3土曜日

午前10時～11時30分

場所 大宝地区公民館

連絡先 福本 93・4829



「思い出作りを一緒にしませんか」

かなん写真クラブ

今年の二月から新型コロナウイルス感染症が発生し、世界に脅威をもたらした、現在もなおその対応に国・府・河南町は苦慮されています。各文化団体も使用施設に制限があり、活動そのものが自粛されてきました。

写真クラブが毎月行っています。撮影会は、撮影場所の休業や参加者の減少により中止をしています。例会は三密を避け、検温・手指の消毒・机の消毒と充分気を付け、また各自がコロナ対策を取って開催しています。

以前は街を歩いているとカメラを持ち歩いている人をよく見かけましたが、最近では食事場所やイベント会場ではスマホのカメラで撮影が主になってしまっています。スマホを見せてもらおうと何十枚、何百枚という写真が保存されており、目の前の映像をそのまま撮って思い出を残しておこうとされています。しかし、写真は作品として仕上げ、大切な瞬間を思い出として大事にしたいですね。撮りためた家族の写真をアルバムに整理しておく、いつかは楽しい思い出として振り返ることが出来ます。私たちと一緒に思い出作りに参加しませんか。

例会 〈研修会〉 第4木曜日

午後1時～5時

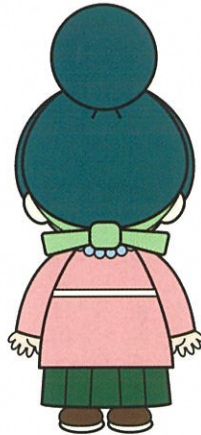
場所 大宝地区公民館

〈撮影会〉 検討中

連絡先 山中 93・6420

文化祭典の展示





Facebook : 河南町文化協会